

農 研 速 報

平成 29 年 9 月 4 日発行
茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
〒301-0816 茨城県龍ケ崎市大徳町 3974
TEL: 0297-62-0206 FAX: 0297-64-0667

大豆の生育状況(8月25日現在)

地 域 名	生育ステージ		生育(作柄・品質)概況	問 題 点	備 考
	本 年	対 平 年 遅 速			
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	タチナガハ 莢伸長期～ 子実肥大期	平年並	龍ヶ崎における7月第6半旬～8月第5半旬の気象および大豆の生育概況は下記のとおりである。 【気象】 ○気 温: 日平均気温は平年より1.6℃低かった(図2)。 ○降水量: 平年比103%であった(図3)。 ○日照時間: 平年比42%であった(図4)。 【生育】 タチナガハ: 開花期は平年と同じ7月31日であった。 主茎長はやや短く、主茎節数、茎の太さは平年並、分枝の数はやや少ない。地上部の生体重は平年並であった。平年より株あたりの莢数は少なく、莢重はやや重かった。 里のほほえみ: 開花期は前年より2日早い7月31日であった。 前年と比較して、主茎長はやや長く、主茎節数はやや多いが、分枝の数は極めて少なく、茎はかなり細い。地上部の生体重はやや重かった。株あたりの莢数はかなり少なく、莢重はかなり重かった(前年は開花期前後の寡雨により小粒傾向)。 納豆小粒: 開花期は平年より1日遅い8月8日であった。 主茎長は平年より長く、主茎節数はやや多く、分枝の数は平年並、茎の太さはやや細い。地上部生体重はやや軽かった。株あたりの莢数は平年並、莢重はかなり重かった。	特になし	●病虫害防除をこれまでに3回実施した。 ・莢害虫防除: 8/2, 8/10, 8/21 ・紫斑病防除: 8/21 ○紫斑病の防除適期は開花始めから10日後～40日後である。 1回防除の場合は開花始めから20日後頃に行うと高い効果が得られる。 ○葉焼病は、風雨により発生が助長される。子実の肥大が劣り減収につながることから、早期発見に努め、発生を認めたら速やかに大豆に登録のある銅剤を散布する。 ○病虫害の発生予察については病虫害防除所のホームページを参照する。 (http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/)
	里のほほえみ 莢伸長期～ 子実肥大期	平年並 (対前年値)			
	納豆小粒 着莢期～ 莢伸長期	平年並			

表 1 大豆の生育状況(8月25日現在, 播種後67日)

品種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月日)	前年差 (月日)	平年差 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	7月31日	-1 (8月1日)	±0 (7月31日)	57.0	90 (63.2)	94 (60.5)	13.6	94 (14.4)	96 (14.1)	3.9	81 (4.8)	85 (4.6)	11.0	96 (11.5)	98 (11.2)
里のほほえみ	7月31日	-2 (8月2日)	-	60.1	107 (56.4)	-	14.8	109 (13.6)	-	3.0	56 (5.4)	-	10.9	83 (13.1)	-
納豆小粒	8月8日	±0 (8月8日)	+1 (8月7日)	97.7	133 (73.7)	121 (80.5)	18.7	114 (16.4)	109 (17.2)	7.0	106 (6.6)	97 (7.2)	10.1	98 (10.3)	92 (11.0)

品種	地上部生体重			一株莢数			一株莢重		
	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	250	102 (245)	98 (255)	80	74 (108)	76 (105)	43.5	202 (21.5)	109 (40.0)
里のほほえみ	251	106 (236)	-	71	65 (109)	-	44.9	321 (14.0)	-
納豆小粒	268	110 (243)	94 (284)	156	94 (166)	95 (165)	11.6	237 (4.9)	159 (7.3)

【耕種概要】

1) 圃場(来歴): 中粗粒灰色低地土(輪換畑, 転換3年目, 前作麦)

2) 播種日: 6月19日, 栽植密度: 11.1株/m²(畦間60cm×株間15cm) 1本立て
施肥量: N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.2-1.2(kg/a)

【平年値および注意】

1) () 内は前年値または平年値。平年値は直近5カ年分のデータ平均値。

*平成23年~28年, 平成24年は天候不順により播種期が7日遅れたため除外した。
「里のほほえみ」は平成27年度から実施のため平年値なし。

2) 茎の太さは第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の中間で最も太い部分を測定した。

3) 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ。



図 1 所内大豆の生育状況(8月25日撮影)

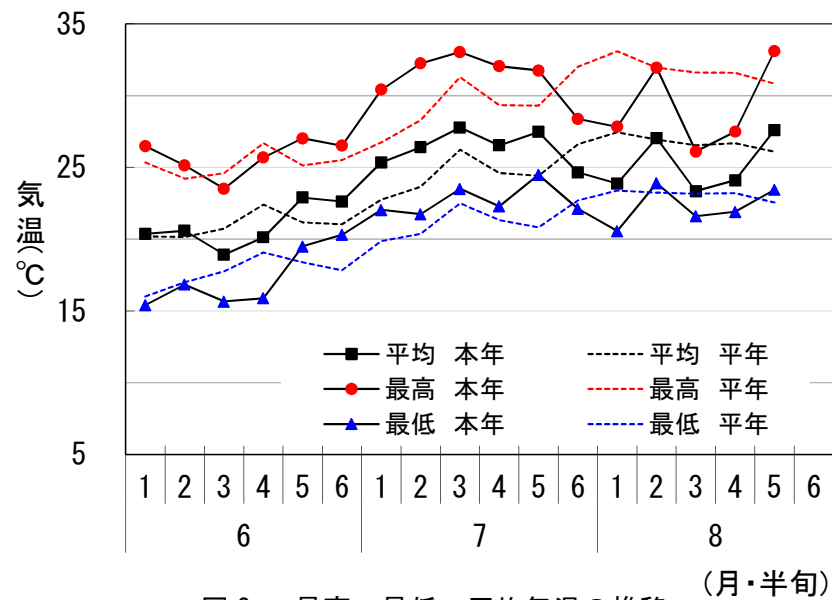


図2 最高・最低・平均気温の推移

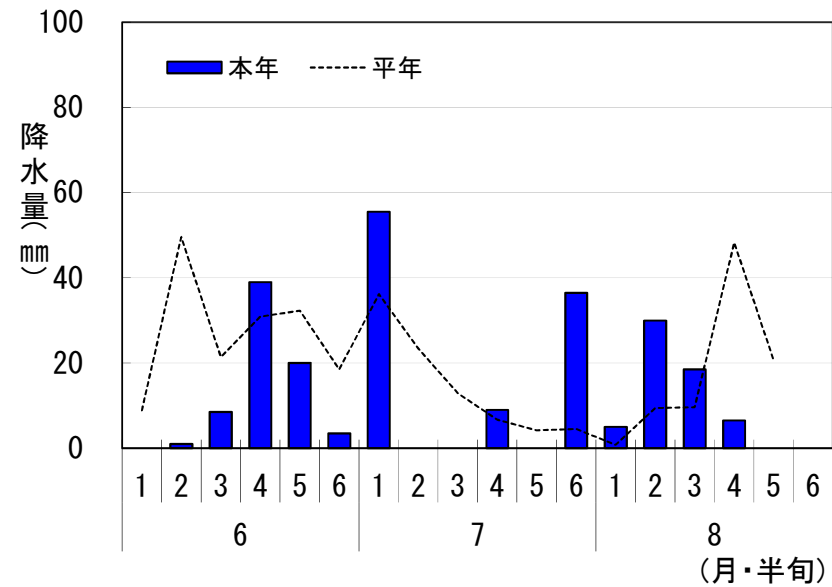


図3 半旬別降水量の推移

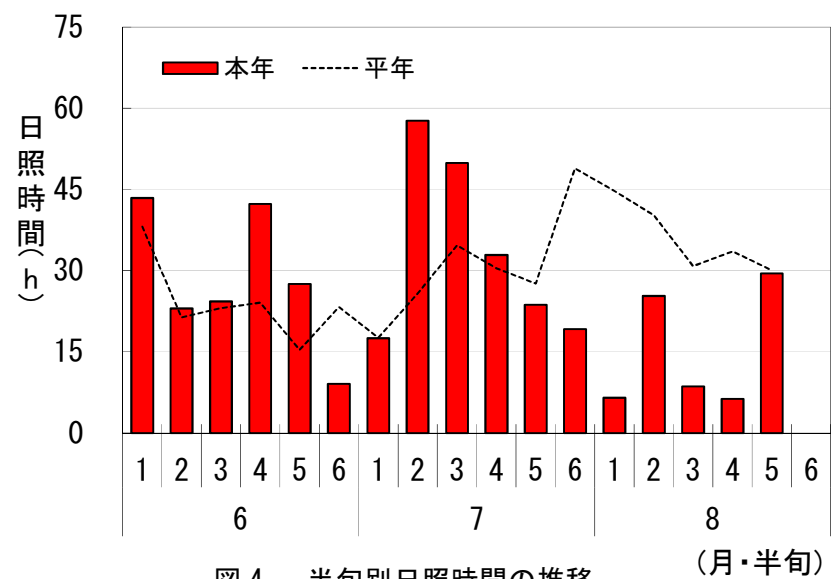


図4 半旬別日照時間の推移

※龍ヶ崎アメダスデータ参照, 平年値は直近5ケ年(平成24~28年)の平均値